［業務提携］

Shoketta ショケッタ

Shoketta HP
https://www.shoketta-jp.com/







Shoketta ショケッタ
Singer / Vocalist / Songwrite

沖縄県那覇市出身。
5歳よりピアノを始め、幼少期から音楽に親しむ。
13歳の頃より米軍基地内のチャペルで演　奏活動を開始し、本場のゴスペルに触れた経験は、後のソウル、 R&B、ジャズへとつながる音楽的基盤となっ　た。

1997年、仲本政国音楽事務所に所属。沖縄県内のホテルやイベント等でラウンジピアノ演奏、ピアノ弾き語り、 ボーカル出演を重ね、沖縄の演奏現場でプロとしてのキャリアをスタートさせる。
2001年には歌を本格的に学ぶ ため上京し、約 4年間ボーカルトレーニングを受ける。
2004年にBerklee College of Musicの奨学金を獲得し、
2006年冬にバークリー音楽大学入学。その後も米国で音楽活動を続け、
2009年よりニューヨークを拠点に活動を展開した。
同2009年以降は、国内外のミュージシャンを沖縄に迎えるライブシリーズ「 ONE NIGHT ONLY」を企画・出演 し、沖縄と海外をつなぐ音楽活動を継続。
2010年、ジャズシンガーとしてアメリカの携帯電話会社ハナセルのイメージレディに選出。現地での出会いをきっかけに、2012年、ニューヨークにてアルバム制作プロジェクトが始動する。ベーシストであり、ニューヨークの音楽シーンを代表するリッチー・グッズをプロデューサーに迎え、クラレンス・ペン（ドラム）、アンディー・エズリン（ピアノ）、ノゾミ・ヤマグチ（ギター）ら、世界で活躍するミュージシャンとレコーディングを行う。
2012年6月には、那覇市ぶんかテンブス館「木曜芸能公演～百花繚　乱～」にて、慰霊の日を前にした特別公演に出演した。
2014年、ニューヨークでレコーディングしたアルバム『 MY SOUL』をリリース。
2015年には那覇市立病院の企画によるロビーコンサートに出演し、療養中の　方々へサプライズ生演奏を行うなど、地域に根ざした演奏活動も重ねている。
2016年には沖縄県内の離島でのラ イブ活動が八重山新聞に掲載されたほか、同年より Parker's Mood Jazz Clubにてレギュラー出演を開始し、 2019年末まで継続した。
2020年以降は、コロナ禍を機に米国のピアニスト Chip Crawfordとの音楽制作活動を開始。
2024年には自身のバンド「 Shoketta and Vibe Nation」を結成し、Camp Foster Festival 2024に出演した。
2025年には宮古島のリゾートホテルにて約 6か月間、ホテル演奏に従事。同年 9月には、バン クーバー、ヴィクトリア、サンフランシスコ、ロサンゼルスの 4都市を巡る音楽プログラム「Journey of Jazz 2025」にて、Shoketta作曲の楽曲が Chip Crawford Trioによりインストゥルメンタル編成で演奏され、 Shoketta 自身も作曲家として招待・同行した。

ディスコグラフィ
アルバム
MY SOUL（2014年7月25日リリース）



収録曲
1.Summertime
2.This Masquerade
3.My Funny Valentine
4.What A Difference A Day Made
5.Fields Of Gold
6.Harpo's Blues
7.Shenandoah
8.Someday We'll All Be Free
9.Desperado
10.Walk With Me, Lord

アルバム・パーソネル
Shoketta - Vocal
Richie Goods - Bass
Clarence Penn - Drums
Andy Ezrin - Piano/Rhodes
Nozomi Yamaguchi - Guitar
Daniel Sadownick - Percussion
Stacy Dillard - Saxophone
Francis Liu - Violin

Produced and music arranged by Richie Goods







有限会社 FECオフィス
沖縄県那覇市安里1-1-58　光生ビル303
電話：098-869-9505／FAX：098-869-9506
Eメール：fec.okinawa@gmail.com